

平成29年12月11日

## 平成29年度「東アジア文化交流使」の決定

文化庁では、この度、平成29年度「東アジア文化交流使」(※)を以下の3名に決定しましたので、お知らせします。

※「東アジア文化交流使」とは、中堅・若手芸術家等を中国・韓国を中心とした東アジア諸国に派遣し、日本の文化を広く世界に紹介する事業です。

ふじわら

○藤原ちから氏(批評家・BricolaQ 主宰)

### (1) プロフィール

横浜と京都を主な拠点とし、批評家としては、著書『演劇最強論』、ウェブサイト「演劇最強論-ing」を運営している他、アーティストとしては、遊歩型ツアープロジェクト「演劇クエスト」を国内外各地で創作している。

### (2) 派遣国・活動内容等

中国に平成30年1月中旬に派遣予定。主な活動内容として、香港、上海等において、「演劇クエスト(「冒険の書」を片手に、フィールドを自由に移動する遊歩型ツアープロジェクト)」のリサーチや、アートをスペースを訪問し、現地アーティストとネットワークを構築する。

まきめまなぶ

○万城目学氏(小説家)

### (1) プロフィール

実在の事物や日常の中に奇想天外な非日常を持ち込む作風は「万城目ワールド」と呼ばれている。著書は『鴨川ホルモー』『鹿男あをによし』『プリンセス・トヨトミ』『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』『偉大なる、しゅららぼん』など多数にのぼる。

### (2) 派遣国・活動内容等

韓国に平成29年12月中旬に派遣予定。主な活動内容として、国際交流基金ソウル文化センターにて、トークイベントを開催するとともに、韓国各地の日本人が手がけた近代建築を探访し、現地専門家と意見交換を行うことを予定している。

(次ページに続く)

○モリ川<sup>かわ</sup>ヒロトー氏（映像クリエイター・音楽家・写真家・エッセイスト）

（１）プロフィール

国内外のイベント，美術館・博物館の演出音楽を多数手がける。金沢市観光協会ＨＰにて「金澤コンシェルジュ通信」を運営し，金沢２１世紀美術館１０周年記念展示「２１世紀‘現在’美術館」を企画するなど，金沢市を中心に活躍している。

（２）派遣国・活動内容等

韓国に平成３０年３月中旬に派遣予定。主な活動内容として，日本の魅力を発信するための映像展示，トークイベント等を実施することを予定している。

（敬称略，５０音順）

- ・ ３名の略歴は別紙１を御参照ください。
- ・ 「東アジア文化交流使」の事業概要は別紙２を御参照ください。

＜担当＞長官官房国際課国際文化交流室

室 長 秋山 麻里（内線３１５３）

室長補佐 木南 秀隆（内線３１６６）

振興係長 内 誠（内線３１６７）

電話：０３－５２５３－４１１１（代表）

ふじわら  
藤原 ちから

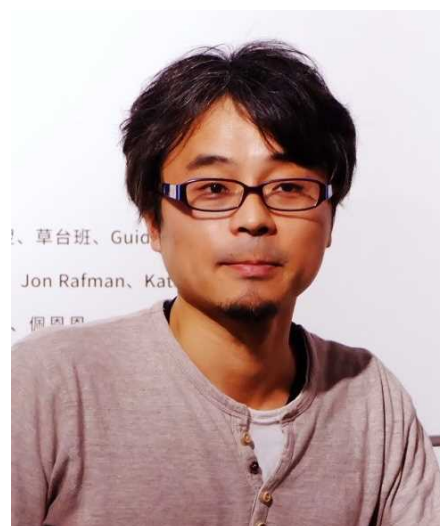
(批評家、BricolaQ 主宰)

【出 生 地】高知県高知市

【生年月日】1977 年 5 月 30 日

【学 歴】立教大学法学部

BricolaQ 主宰。現在は横浜と京都を主な拠点とし、日本、フィリピン、台湾、中国、韓国、ドイツ等、国内外の各地で批評家またはアーティストとして活動する。世界に存在する様々な「壁」を越えて何かを繋ぐことに関心を持っている。



©Cheryl Who

12 歳で単身上京し、東京で一人暮らしを始めた。立教大学法学部政治学科卒業後、障害者福祉の地域作業所、町づくり・都市計画コンサルタント、古本屋、出版社などを転々とし、その後はフリーランスとして活動を開始。雑誌「エクス・ポ」、武蔵野美術大学広報誌「mauleaf」、世田谷パブリックシアター「キャロマグ」などの編集を担当した。

やがて現代演劇についての批評を中心に様々な記事を執筆するようになり、徳永京子とは共著『演劇最強論』（飛鳥新社、2013 年）のほか、ローソンチケットのバックアップによるウェブサイト「演劇最強論-ing」も共同運営している。NHK 横浜のラジオ「横浜サウンド☆クルーズ」に月 1 回出演。金沢市民芸術村で劇評講座（2015-17 年）を行うほか、北京、上海（2016 年）、デュッセルドルフ（2017 年）など海外でも日本の現代演劇についてレクチャーをすることがある。

本牧アートプロジェクト 2015 ではプログラムディレクターを務めた。若いアーティストの育成にも関心があり、アジア舞台芸術祭アートキャンプ 2015、KARNABAL X 2017（フィリピン）ではメンターを務めたほか、2017 年からは横浜・blanClass でアーティスト・コレクティブ「港の探偵団」を立ち上げている。

2014 年以降はアーティストとしても活動し、遊歩型ツアープロジェクト『演劇クエスト』を、横浜を中心に、城崎温泉、マニラ、デュッセルドルフ、安山など各地で創作している。またパフォーマンス『Woman In A Port』をマニラ・KARNABAL2017 で上演。ADAM ラボ(台北、2017 年)にも参加し、世界各地から集まったアーティストたちと『IsLand Bar』を創作して上演。

2017 年度よりセゾン文化財団シニア・フェロー。

【HP】

<http://bricolaq.com/>

【出 生 地】大阪市

【生年月日】1976 年 2 月 27 日

【学 歴】京都大学法学部



©ホンゴユウジ

大学卒業後、化学繊維会社勤務を経て、2006（平成 18）年に『鴨川ホルモー』で第四回ボイルドエッグズ新人賞を受賞しデビュー。その他小説として『鹿男あをによし』『ホルモー六景』『プリンセス・トヨトミ』『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』

『偉大なる、しゅららぼん』『とっぴんぱらりの風太郎』『悟浄出立』『バベル九朔』『パーマネント神喜劇』がある。

また、エッセイに『ザ・万歩計』『ザ・万遊記』『ザ・万字固め』がある。映画・ドラマ・舞台化された作品も多く、実在の事物や日常の中に奇想天外な非日常性を持ち込む作風は「万城目ワールド」と呼ばれている。

近代建築への関心も高く、『ぼくらの近代建築デラックス！』では作家の門井慶喜氏とともに国内のみならず台湾にまで足を伸ばし、残存する日本人が手がけた近代建築を探訪した。現在、「小説幻冬」にて長編小説『ヒトコブラクダ層ぜっと』を、「週刊文春」にてエッセイ「万城目学の人生論ノート」を連載している。

## モリ川 <sup>かわ</sup> ヒロト

(映像クリエイター・音楽家・写真家・エッセイスト)



【出生地】石川県金沢市

【生年月日】1963年10月4日

【学歴】多摩美術大学芸術学科映像専攻

多摩美術大学在学中から映像作品コンペ多数入賞、出展。卒業後は映像ディレクター、演出音楽作曲家として活動。2000年ドイツハノーバー万博日本館を始め国内外のイベント、美術・博物館の演出音楽を多数手がける。

2009年秋より金沢市観光協会HPにて独自の金沢魅力案内「金澤コンシェルジュ通信」開始。11年から金澤映像空間イベントを開始、21世紀美術館プロジェクションを始めとする単独映像演出の他、加賀宝生能楽師、日本舞踊家、和太鼓奏者などとのコラボ、金沢芸妓衆の舞台映像演出も手掛ける。

### 【2016年以降の主な金澤作品制作・活動】

「金澤月下艶舞」vol.3 厳冬望月編 (with 藤間信乃輔) 金沢辻家庭園  
「藤間信乃輔 花鏡～未来へ紡ぐをどり絵巻」石川県立音楽堂邦楽ホール  
「金澤月下艶舞」vol.4 中秋の名月編 (with 藤間信乃輔) 金沢辻家庭園  
「金沢 21 世紀工芸祭 金沢みらい茶会 流れる」(総合演出 早川和良) 浅野川特設ドーム  
「金澤映像風姿」金沢能楽美術館  
京都小丸屋 上賀茂神社奉納記念パーティ オープニング ザ・リッツ・カールトン京都  
「銀座の金沢」店内映像演出 銀座 キラリトギンザ  
「金沢おどり」演出映像 石川県立音楽堂邦楽ホール  
「金澤現在美術館」金沢 21 世紀美術館屋外プロジェクション  
「ストリングスの世界」2017 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭 北國新聞赤羽ホール

### 【HP・SNS】

Facebook <https://www.facebook.com/hirotoh.morikawa>

Pinterest <https://www.pinterest.jp/hirotoh/kanazawa/>

Instagram <https://www.instagram.com/hirotoh/>

YouTube <https://www.youtube.com/playlist?list=PLED8E74803F86F9DD>

金沢市観光協会 HP「金澤コンシェルジュ通信」

<http://conciierge.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp>

## 東アジア文化交流使について

## 1. 目的・趣旨

平成26年11月に開催された第6回日中韓文化大臣会合において、日中韓3か国の文化交流を促進するために、日中韓各国が自国の芸術家・文化人等を「東アジア文化交流使」として一定期間派遣し、実演やワークショップ等を通じて自国の文化を広く紹介していくことを決定。

本事業を通じて相互の文化への理解を深化させるとともに、芸術家・文化人等のネットワークの形成・強化を図る。

## 2. 内容

- ・伝統文化から現代文化まで多様な分野の中堅・若手の芸術家・文化人等を、中国、韓国を中心とする東アジア諸国（1か国又は複数国）に派遣し、専門分野に関する実演、実技指導、講演、上映・展示、情報交換等の活動を実施する。
- ・派遣期間は原則として2週間程度とし、派遣者は1週間に2回以上の活動を行う。

## 【参考】過去2年間の派遣実績

氏 名	プロフィール	活動国	活動内容
平成28年度			
長田 育恵	劇作家／「演劇ユニットてがみ座」主宰	韓国	ソウル等において、今後の新作や共同制作に向けた現地演劇関係者との意見交換や調査等を実施
笹本 晃	アーティスト	中国	上海ビエンナーレへの参加に合わせてレクチャー等を実施
蓮沼 執太	音楽家	中国	北京等において、展示やライブ等を実施
久門 剛史	美術作家	中国	上海当代美術館で開催される個展に合わせてレクチャー等を実施
宝生 和英	宝生流能楽師 第20代宗家	中国	香港等において、能に関するレクチャーやワークショップ等を実施
村川 拓也	演出家	中国	北京等において、今後の共同制作に向けた現地演劇関係者との意見交換や調査、ワークショップ等を実施
平成27年度			
楠木 早紀	競技かるた永世クイーン	中国	かるた・百人一首に関する指導やデモンストレーションを実施
やなぎ みわ	美術作家・舞台演出家	中国	現地アーティストと将来の共同制作に向けた情報交換・トークイベント等を実施
スズキ 拓朗	演出家・振付家・ダンサー	韓国	現地ダンサーとの共同制作・ワークショップを実施

## 3. 指名手続

東アジア文化交流使は、独立行政法人国際交流基金や文化交流使事業委員会（※）の助言を受け、文化庁長官によって指名される。

※「文化交流使事業委員会」は、文化交流使事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会で、関係行政機関、学識経験者等から構成される。